

大学生の就職内定率、やや回復の 59.9%

前年同期比で 2.3 ポイント増

旺文社 教育情報センター 23 年 11 月

文部科学省（以下、文科省）および厚生労働省（以下、厚労省）はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、来春卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率（以下、内定率）は、10 月 1 日現在で 59.9%（前年同期比 2.3 ポイント増）で、“過去最低”だった前年度を、やや上回る状況であることが判明した。

概況

●依然“就職氷河期”を下回る低い水準

大学生の内定率は、前年同期比で 2.3 ポイント上回り、やや回復の兆しを示したが、依然として“就職氷河期”といわれた 15 年度の 60.2%、16 年度の 61.3%を下回る、過去 2 番目に低い水準で大変厳しい状況である。また、短大女子も内定率 22.7%、前年同期比 0.2 ポイント増の回復にとどまり、同じく過去 2 番目に低い水準を記録。底であった 15 年度と 21 年度の 29.0%を大きく下回る低水準にとどまった。（図 1 参照）

●内 訳—国公立男子、国公立文系の“上げ幅大”。私立女子苦戦—

大学生の内定率を男女別にみると、男子は 61.7%（前年同期比+2.2 ポイント）、女子は 57.7%（同+2.4 ポイント）と女子の上げ幅がやや大きい。文理別では、文系が 59.7%（+2.3 ポイント）に対し理系は 60.6%（同+2.3 ポイント）で、理系がやや高い。設置者別では、国公立大が 67.4%（同+4.2 ポイント）、私立大が 57.4%（同+1.6 ポイント）と国公立大の上げ幅が大きく、国公立大と私立大の内定率の差は、前年の 7.4 ポイントから 10.0 ポイントに広がった。特に、国公立大男子 68.8%（同+4.7 ポイント）と、国公立大文系 68.8%（同+4.4 ポイント）の上げ幅が大きい。また、私立大女子は 54.9%（同+1.9 ポイント）と最も低い内定率となった。地域別の内定率では、全ての地区でアップしており、九州地区 52.6%（同+1.1 ポイント）が最も低く、関東地区 64.9%（同+3.9 ポイント）が最も高い結果となった。

■大卒者の初任給 厚労省は平成 23 年「賃金構造基本統計調査(初任給)」の調査結果を 11 月 15 日に公表した。新規学卒者の平成 23 年初任給(6 月分)についての集計結果で、対象は 10 人以上の常用労働者を雇用する民間事業所のうち、新規学卒者を採用した 13,534 事業所。

23 年大卒者の初任給(男女計・学部卒)は、**20 万 2000 円**(前年比 2.3%増)で、2 年ぶりの増加となった。事務系(同)は **19 万 9500 円**(同 1.1%増)、技術系(同)は **20 万 6500 円**(同 2.6%増)。

また、企業規模別(同)では、大企業(常用労働者 1000 人以上)は **20 万 7300 円**(同 4.5%増)、中企業(同 100~999 人)は **20 万 2200 円**(同 2.5%増)、小企業(同 10~99 人) **18 万 9500 円**(同 3.3%減)となり、企業規模による格差が拡大している。なお、産業別に見ると、23 年に最も初任給が高かった産業は、男女とも「学術研究、専門・技術サービス業」(男子 **24 万 8300 円**・同 19.3%増/女子 **22 万 7700 円**・同 12.0%増)で、最も初任給が低かった産業は、男子は「医療、福祉」(**19 万 2200 円**・同 2.3%増)、女子は「宿泊業、飲食サービス業」(**18 万 5400 円**・同 1.7%減)となっている。新卒予定者の就職状況は、やや回復の兆しが見えたとはいえ、依然として非常に厳しい状況で、今後の動向に引きつづき注意していきたい。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 23 年 10 月 1 日、12 月 1 日、24 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

なお、各調査結果の詳細については、以下の集計表をご覧ください。

平成 23 年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（10 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校の抽出調査。

*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

*前年度就職率＝平成 23 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	76.9% (3.3)	59.9% (2.3)	91.0%
国公立	57.8% (4.0)	67.4% (4.2)	93.5%
私 立	86.4% (2.9)	57.4% (1.6)	90.1%
短期大学	79.8% (0.2)	22.7% (0.2)	84.1%
高等専門学校	65.8% (9.5)	93.9% (0.1)	98.7%
合 計	76.4% (3.4)	58.4% (2.4)	90.7%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	71.4% (2.8)	61.7% (2.2)	91.1%
国公立	49.7% (3.4)	68.8% (4.7)	92.5%
私 立	83.1% (2.5)	59.5% (1.4)	90.6%
高等専門学校	65.8% (9.5)	93.9% (0.1)	98.7%
合 計	70.7% (3.6)	65.5% (2.4)	92.0%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	84.6% (4.0)	57.7% (2.4)	90.9%
国公立	70.6% (4.9)	65.7% (3.5)	94.6%
私 立	90.8% (3.5)	54.9% (1.9)	89.6%
短期大学	79.8% (0.2)	22.7% (0.2)	84.1%
合 計	83.6% (3.2)	50.7% (2.1)	89.5%

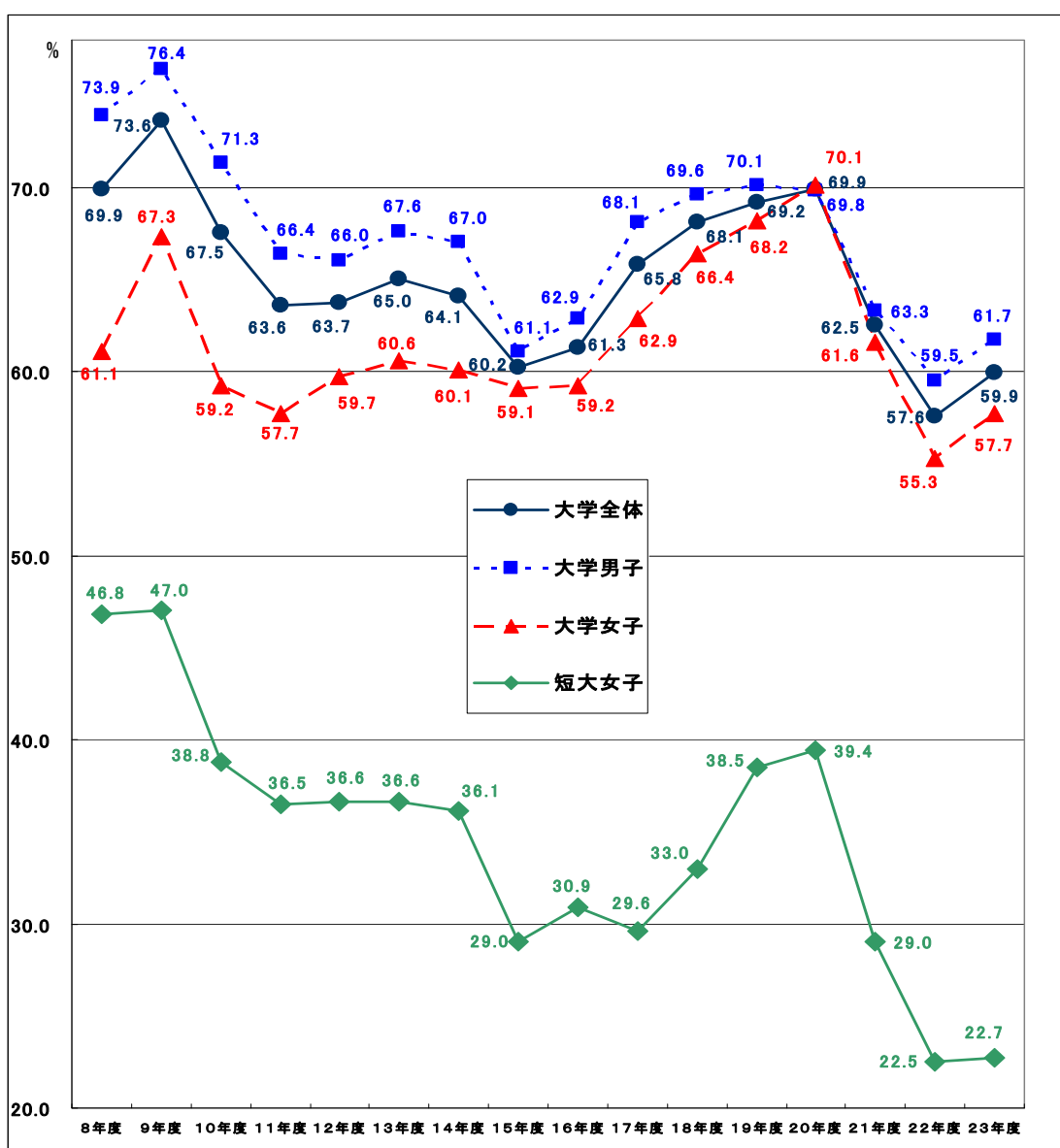
[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	59.7% (2.3)	60.6% (2.3)
国公立	68.8% (4.4)	64.5% (3.9)
私立	57.3% (1.6)	57.7% (1.3)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	56.9% (1.3)	近畿	61.4% (0.9)
関東	64.9% (3.9)	中国・四国	53.5% (0.5)
中部	55.9% (4.0)	九州	52.6% (1.1)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（10月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。